

## 日本看護図書館協会 2011 年度第 43 回研究会報告

第 43 回研究会は、2011 年 10 月 22 日（土）、神奈川県立保健福祉大学（横須賀市）を会場に開催した。研究会のテーマは「魅せる使えるホームページ」、参加者は合計 25 名であった。

図書館のホームページは利用者に向けて、利用案内や蔵書検索などいろいろな情報を提供しているが、利用者が目的の情報にたどり着けないことが多い。今回の研究会は、利用者にわかりやすくユーザビリティにすぐれたホームページとはどんなホームページかを考えることにした。

最初に、国際基督教大学の松山龍彦様から、長年図書館のホームページに携わった経験から、ユーザビリティに優れたホームページについて、いろいろと具体例をあげながら話をしていただいた。デザイン、多機能、斬新さ、視覚化などに凝るとかえって、使いにくさ、伝わりにくさが目立ってユーザビリティが劣ると述べられた。ホームページも内容と見た目のわかりやすさにユーザビリティを加えて考え、リンクや構成、表現などを工夫したデザインが良いと話された。

講義のあと、ワークショップで参加者が講師の話をもとにして、ユーザビリティに優れたホームページをコンセプトに A4 用紙にホームページを描いた。その後、参加者が、各人が考えたホームページのデザインや構成の意図、伝えたい情報を発表し、松山様から講評をいただいた。

今回は半数近くが初めての参加者で、経験年数も 5 年未満が比較的多かった。研究会の印象は、「大変有意義だった」、「有意義だった」が合わせて約 93% と高い評価を得た。

神奈川県立保健福祉大学には、研究会の準備から開催まで大変お世話になった。無事に終わることができ、会場校のご配慮とご尽力に心より感謝とお礼を申し上げたい。また、講師の松山様や参加して下さった方々にもお礼申し上げたい。

10 月 22 日（土）

12:30-13:00 受付

13:00-13:20 開会・オリエンテーション

会長挨拶：日本看護図書館協会 中木高夫会長

会場校挨拶：神奈川県立保健福祉大学 古谷幸治附属図書館長

13:20-14:20 講義 ユーザビリティ？ すごいものは要らない？

国際基督教大学 松山龍彦氏

14:20-15:50 ワークショップ 使えるホームページを紙にデザインする

15:50-16:00 休憩

16:00-16:50 発表・意見交換

16:50-17:00 閉会

解散